

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-299151

(43)Date of publication of application : 14.11.1995

(51)Int.CI.

A61N 2/08

A61H 23/02

A61H 39/04

(21)Application number : 06-093236

(71)Applicant : KAWASAKI SEIKI SEISAKUSHO:KK

(22)Date of filing : 02.05.1994

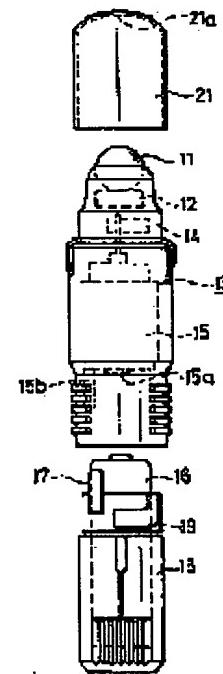
(72)Inventor : FUJISAWA HIROSHI

(54) MASSAGING APPARATUS

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a massaging apparatus which allows a magnetic force and a vibrator to be jointly effective.

CONSTITUTION: This apparatus is made up of a steel ball 11 held at the tip of a body, a magnet 12 for holding the steel ball, a vibrator 13 to give vibration to the body of the massaging apparatus, and a switch 17 to turn ON or OFF the vibrator 13. A magnetic force and a vibrator are made jointly effective to stimulate meridian points.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-299151

(43) 公開日 平成7年(1995)11月14日

(51) Int.Cl.⁶

A 6 1 N 2/08

A 6 1 H 23/02

39/04

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

3 3 2

Y 7507-4C

A 6 1 N 1/ 42

C

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全3頁)

(21) 出願番号

特願平6-93236

(22) 出願日

平成6年(1994)5月2日

(71) 出願人 391054486

株式会社川崎精機製作所

東京都荒川区西尾久8丁目27番9号

(72) 発明者 藤澤 弘

東京都荒川区西尾久8丁目27番9号 株式

会社川崎精機製作所内

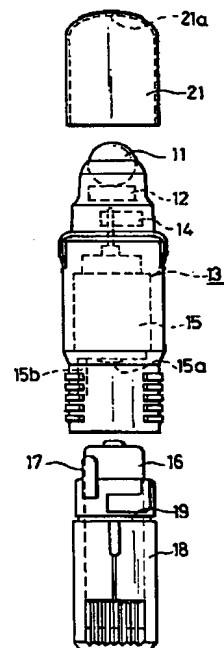
(74) 代理人 弁理士 佐々木 功

(54) 【発明の名称】 マッサージ器

(57) 【要約】

【目的】 磁力とバイブレータの双方が作用するマッサージ器を提供することにある。

【構成】 本体の先端に保持された鋼球体11と該鋼球体の保持に寄与する磁石12とマッサージ器本体に振動を与える加振器13と前記加振器をON-OFFするスイッチ17とから構成されたので、磁力とバイブルータの双方が作用し効果的にツボを刺激できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 マッサージ器本体の先端に回転自在に保持された鋼球体と、該鋼球体の保持に寄与する磁石と、マッサージ器本体に振動を与える加振器と、前記加振器をON-OFFするスイッチとから構成されたことを特徴とするマッサージ器。

【請求項2】 前記磁石の磁力線が前記鋼球体を介して放射される事を特徴とする請求項1記載のマッサージ器。

【請求項3】 前記加振器は、偏心ロータと、電動モータである事を特徴とする請求項1記載のマッサージ器

【請求項4】 マッサージ器の接触面を兼ねた蓋部材が着脱自在に装着される事を特徴とする請求項1記載のマッサージ器。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、電動式のマッサージ器の改良に関する。

[0002]

【従来の技術】一般に従来のマッサージ器は、モータ等を使用して機械的振動をおこし、それを肩や腰に当てて使用していた。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】ところで、上述した従来のマッサージ器にあっては、機械的振動のみであったので、人体のツボに当てもその効果が少なかった。また、装置も大がかりで、携帯には不便であった。

【0004】本発明の目的は、上述した欠点に鑑みなされたもので、人体のツボを効果的に刺激する事ができるマッサージ器を提供する事にある。また、軽便で携帯に便利なマッサージ器を提供することにある。

〔五〇〇五〕

【課題を解決するための手段】本発明に係るマッサージ器は、マッサージ器本体の先端に回転自在に保持された鋼球体と、該鋼球体の保持に寄与する磁石と、マッサージ器本体に振動を与える加振器と、前記加振器をON-OFFするスイッチとから構成されたものである。また、前記磁石の磁力線が前記鋼球体を介して放射されるものである。更に前記加振器は、偏心ロータと、電動モータである。また、マッサージ器の接触面を兼ねた蓋部材が着脱自在に装着されたものである。

[0006]

【作用】このように、本発明に係るマッサージ器は、加振器による機械的振動と磁力線による2種類の刺激により、効果的に人体のツボを刺激できる。

[0007]

【実施例】以下、添付図面に従って本発明の一実施例を説明する。図1は、本発明の一実施例を示すマッサージ器の分解正面図、図2は本発明の一実施例を示すマッサージ器の縦断面図、図3は同マッサージ器の全体斜視図。

10 より回転駆動される。また、電動モータ15のON-OFF制御は、スイッチ17によりおこなわれる。

【0009】電動モータ15は、内蔵された電池16により回転駆動される。また、電動モータ15のON-OFF制御は、スイッチ17によりおこなわれる。

〔0010〕前記電動モータ15の下端は、中央に電極15aと周辺に電極15bを備えている。一方、本生の

下端部 18 は、電池 16 を収納する凹所 18a を有するとともに、本体に溝 19 で回動可能に挿嵌されている。また、前記下端部 18 の凹所 18a の底部には、電極 20 が配設されており、挿入された電池 16 の一端と接続される。更に、該電極 20 は、スイッチ 17 と接続されている。

20 [0011]したがって、下端部18を廻す事により、電極15bとスイッチ17とが断続されて、電動モータ15のON-OFF制御がなされる。

【0012】また、マッサージ器本体の先端には、マッサージ器10の接触面を兼ねた蓋部材21を着脱自在に装着する事ができる。蓋部材21の天井部21aは、前記鋼球体11から所定の距離を有している。

【0013】次に、以上のように構成されたマッサージ器の使用方法について説明する。先ず、蓋部材21を外して使用する場合、人体のツボに鋼球体11を押し当て、スイッチ17をONする。すると加振器13からの振動が鋼球体11を介して人体のツボを刺激する。また、強力な磁石12からの磁力線がツボに作用し、機械的な刺激と、磁気的刺激の双方が同時に作用する。この、機械的な刺激と、磁気的刺激により、従来にない強力なマッサージ効果を得る事ができる。

【0014】また、皮膚の過敏な人や老人や子供に使用する場合、蓋部材21を装着したまま、人体のツボに押したてる。このようにして使用した場合は、加振器13による機械的振動や磁石12による磁力線が適度に弱められてツボを刺激する事となる。更に、蓋部材21の表面を滑らかにしたので、顔面のマッサージャーとしても使用できる。

【0015】本発明のマッサージ器は、小型で軽いので携帯に適しポケットやハンドバック等どこへでも収納して持ち運べる利点を備えている。なお、以上の実施例では、加振器は、偏心ロータと電動モータの例について説明したが、これに限る事なく他の加振器、例えば交流電源を用いたものであっても良い。

[0016]

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明に係

るマッサージ器は、マッサージ器本体の先端に回転自在に保持された鋼球体と、該鋼球体の保持に寄与する磁石と、マッサージ器本体に振動を与える加振器と、前記加振器をON-OFFするスイッチとから構成したので、磁力と加振器の双方が作用し効果的にツボを刺激できる。また、マッサージ器の接触面を兼ねた蓋部材を装着したまま使用するば、肌に触れた際にソフトであるので、皮膚の弱い子供や老人に最適である。更に、蓋部材の表面を滑らかにしたので、顔面のマッサージャーとしても使用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すマッサージ器の分解正面図である。

【図2】本発明の一実施例を示すマッサージ器の縦断面図である。

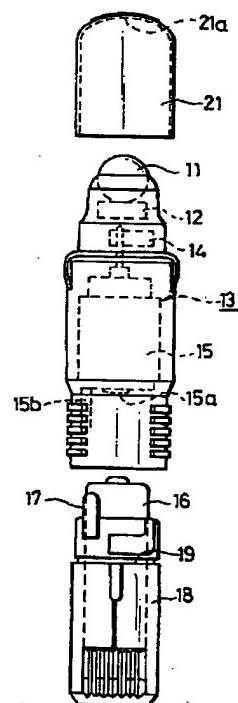
【図3】同マッサージ器の全体斜視図である。

* 【記号の説明】

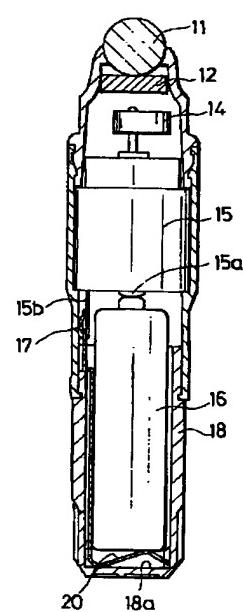
10	マッサージ器
11	鋼球体
12	磁石
13	加振器
14	偏心ロータ
15	電動モータ
15a	電極
15b	電極
16	電池
17	スイッチ
18	下端部
19	溝
20	電極
21	蓋部材

*

【図1】



【図2】



【図3】

